

PBN-0001	標題: Dr. バシラス農業レポート	2012年5月29日
	「佐賀県鳥栖市美濃田園編」	(株) プラス・ビー 野口 涼子

◆佐賀県鳥栖市下野町の区長をしている美濃さんの米作りに1から参加させてもらえる事になった。  
美濃田園の耕作面積・・・4,350㎡(4反3畝5歩)

① 種もみ消毒 (5/23)



さがびよりの種



籾袋へ入れる



漬け込み専用バケツ



バケツに適量の水を溜める



消毒液スミチオン/フロアブル



→水に消毒液を適量の倍数入れる



かき混ぜる



→ 種籾袋をしっかりと漬け込む



→このまま24時間ほど漬け込む

② ハトムネ (5/26~5/27) (種が鳩の胸のようにもり上がる)

消毒に24時間ほど着けたら、一旦引き上げて3~4日間、真水に漬け込む。

種がハトムネになり白いトゲのような芽が出たので播種OK。



PBN-0002	標題： Dr. バシラス農業レポート 「佐賀県鳥栖市美濃田園編」	2012年5月29日
		(株)プラス・ビー 野口 涼子

③ ハトムネ～種蒔き (5/27)



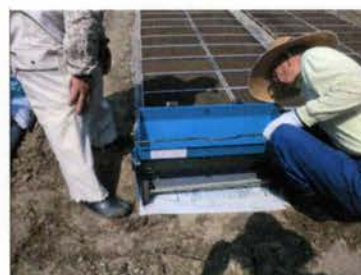
真水に3～4日漬け込んだ後、ハトムネが確認できたら、専用のざるに移し、パラパラになるまで乾かしておく。  
 (翌朝には乾いていた)  
 そして、用意しておいた育苗箱80箱を崩れないように軽トラに積んで苗代へ。



→ 近所の1さんにも手伝ってもらいながら慎重に運ぶ



→ プール方式の畑にビニールを敷き、育苗箱を均等に敷き詰めていく



→ 播種にバラツキが出ないように均一に育苗箱を並べていく



→ 播種機に種を入れたらゆっくり育苗箱に沿って播種機を前進させる

PBN-0003	標題： Dr. バシラス農業レポート 「佐賀県鳥栖市美濃田園編」	2012年5月29日
		(株) プラス・ビー 野口 涼子



播種機を押して撒く様子



→ 全部蒔き終えた様子



→ 種の上から培土を撒いていく



→ きれいに均等に撒いていく



→ **1 回目の Dr. バシラス (納豆菌) 散布**

美濃さんと私でポリ容器に Dr. バシラス 50g を女性用パンティストッキングに入れ 1000 倍の水 (500) で濾過させ溶いた。それをジョーロで育苗箱に均等に散布した。

※ Dr. バシラス (納豆菌) のふすまがジョーロの目につまってしまう為ストッキングを使用します。



→ その後 3~5 日は日光に当ててはいけないのでラプシートを被せた



→ 犬や猫などが侵入し苗が荒らされるのを防ぐために竹を立ててネットを張り補強した。そして1時間程、水を流しプール全体に溜ったら完了。

PBN-0004	標題： Dr. バシラス農業レポート 「佐賀県鳥栖市美濃田園編」	2012年6月13日
		(株) プラス・ビー 野口 涼子

④ ラブシート剥ぎ (6/3)



→

ラブシートを剥いでいく

→



→ 第一葉(茎の部分)が2.5cmと短く、苗自体の長さは9cmと丈夫で葉の色もやや濃いめの理想的な苗に育った。  
 この、第一葉が短い方が丈夫な苗で、長いと倒れやすくなり良くない。

⑤ 寒冷紗張り (6/3)



→ 日光を半分程遮断するシートを張るためアーチをつけていく



→ プールに水を溜めていく。これを午前中のうちに一日一回、田植え(6/23)まで続ける

PBN-0005	標題: Dr. バシラス農業レポート	2012年6月15日
	「佐賀県鳥栖市美濃田園編」	(株)プラス・ビー 野口 涼子

⑥ 寒冷紗剥ぎ (6/7)



通常、寒冷紗は10日ぐらいで剥ぐところ、バシラスの影響と気温が高かったため、生育が良く、4日後に寒冷紗を外し、日光を浴びせた。苗が伸びすぎると、軟弱苗となる為、日光に当てて伸びすぎのを防いだ。

⑦ 美濃田園の様子 (6/3) 麦刈り



⑧ 美濃田園の麦刈り後の様子 (6/14)



麦刈り後→昨年まで、麦わらを燃やしていたが今年は有機肥料として麦わらをすきこんだ

⑨ 代掻き前の様子 (6/18)

→

⑩ 田植え当日の田んぼ (6/23)



PBN-0006	標題： Dr. バシラス農業レポート	2012年6月29日
	「佐賀県鳥栖市美濃田園編」	(株)プラス・ビー 野口 涼子

⑪ 田植え当日 他の苗と比較 (6/23)

Dr. バシラスを使った苗

M組合の苗

Iさんの苗



⑫ 苗のしっかりした様子

⑬ 田植え直前に Dr. バシラス 2 回目の散布 (50g × 1000 倍水)



⑭ 苗を田んぼへ

⑮ 苗箱から苗をはずし、予備の苗を丸める



⑯ 丸めた予備の苗を田植え機に載せ、田植えをしていく (写真左：美濃さんの息子さん)



PBN-0007	標題： Dr.バシラス農業レポート	2012年7月23日
	「佐賀県鳥栖市美濃田園編」	(株)プラス・ビー 野口 涼子

①⑦ 美濃さんと看板立て (7/23) 看板内容→試用品目：さがびより 試用期間：5/27～

使用量：100g 倍数：1000倍 散布回数：2回 方法：1回目→種蒔き直後 50g 2回目→田植え直前 50g



①⑧ ↓ 周囲の他の田園 (7/23) [ジャンボタニシの被害]



①⑨ 成長していく美濃田園の稲穂 (7/23) 拡大

全体



②⑩ 中干し (8/1) 水を入れず土壌にひび割れさせ、わざと厳しい環境にする事で苗がぐっと成長する



PBN-0008	標題: Dr. バシラス農業レポート	2012年8月22日
	「佐賀県鳥栖市美濃田園編」	(株)プラス・ビー 野口 涼子

㊦ ヘリ防除 (8/17) ヘリ防除にて農薬散布 (通常2回行うが今回は後半の2回目は省いた)



㊦ 美濃田園の様子 (8/22)

拡大

全体



㊦ 美濃田園の様子 (9/4) 稲刈りまで約1ヶ月前



㊦ 穂に実が付きはじめる (9/15) これからデンプンが詰まっていく





PBN-0009	標題： Dr. バシラス農業レポート	2012年9月20日
	「佐賀県鳥栖市美濃田園編」	(株)プラス・ビー 野口 涼子

㊦ 9/17の台風16号後の美濃田園の様子 (9/20)



↑ かなりの強風だったため、Dr. バシラスにより早長が長く伸びていた稲穂は周囲の人からは倒れるだろうと言われていたが、倒れることなく、しっかり立っていた。また、美濃さん曰く例年は田んぼに入ると、ぬかるんで足をとられていたのに対して、Dr. バシラスを使った今年の田んぼは根の張りがすごく、地面がぬかるんでいなかったようだ。

㊧ ↓ 周囲の他の田園 (9/20) 台風の影響で穂が少し傾いている



㊨ 稲穂の比較 (9/24) 一番左の稲穂が美濃田園の稲穂(Dr. バシラス使用米)



(左:Dr. バシラス使用米 右3つ:他の稲穂) 米粒の数は、未使用米が平均約100粒だったのに対して、左の草丈の長い稲穂のDr. バシラス使用米は、平均約120~130粒だった。後は、それがどの程度整粒米になるか、収穫してみないと分からない。

PBN-0010	標題： Dr. パシラス農業レポート 「佐賀県鳥栖市美濃田園編」	2012年10月4日
		(株)プラス・ビー 野口 涼子

㊸ 美濃田園の様子 (9/29) 台風前日 稲穂が風で倒れにくくするため10cm程、水を張った



㊹ 台風後の美濃田園の様子 (10/1) 拡大

全体



㊺ 美濃田園の様子 (10/3) 実が詰まってきて穂が垂れてきている



㊻ ↓ 台風後の周囲の田園の様子 (10/3) 稲穂が根元から倒れると実が腐り収穫できない



PBN-0011	標題: Dr. バシラス農業レポート	2012年10月4日
	「佐賀県鳥栖市美濃田園編」	(株)プラス・ビー 野口 涼子

㊦ 収穫の約20日前にそれぞれ5本の稲穂を無作為に収穫して比較 (10/3)

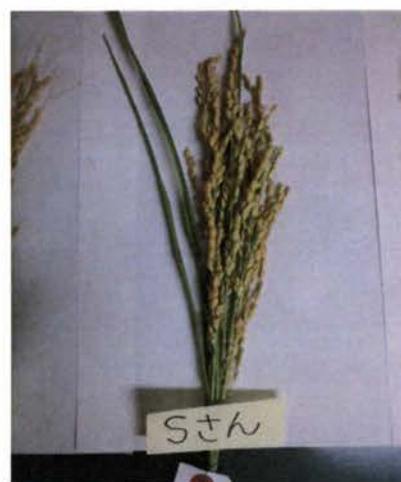


㊧ 美濃田園・Sさん・Iさん・Kさんの稲穂の早長(米粒がついてる部分の長さ)と粒数を比較 (10/3)



**【美濃田園】**

早長(かんちょう)… 5束平均18cm  
粒数…660粒  
一束の平均粒数… 132粒



**【Sさん】**

早長… 5束平均17.9cm  
粒数… 571粒  
一束の平均粒数… 114粒

PBN-0012	標題: Dr. バシラス農業レポート	2012年10月5日
	「佐賀県鳥栖市美濃田園編」	(株)プラス・ビー 野口 涼子



【Iさん】

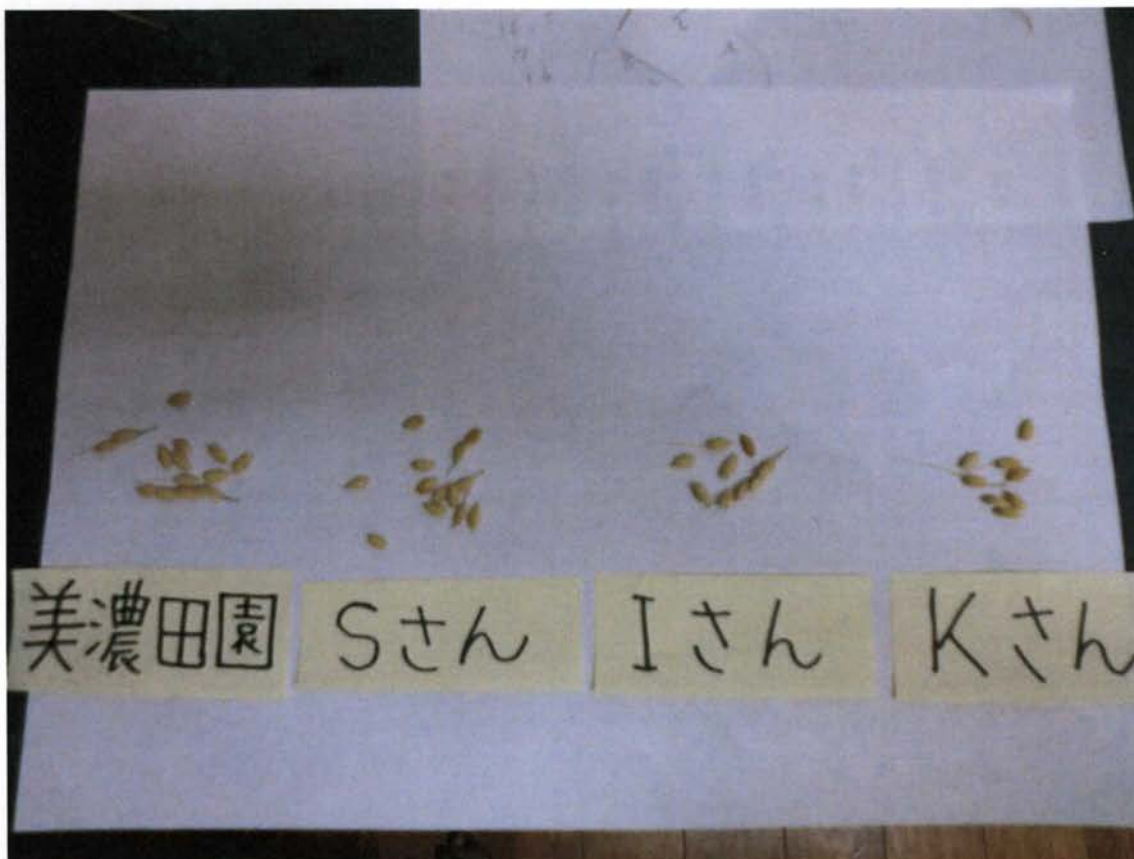
早長… 5束平均16.4cm  
粒数…476粒  
一束の平均粒数… 95粒



【Kさん】

早長… 5束平均16.3cm  
粒数… 500粒  
一束の平均粒数… 100粒

㊤ 米粒の大きさ比較 (10/3)



※ 米粒を稲穂から剥ぎ取る作業をする際、美濃田園の米粒はしっかり穂についていて剥がすのに力がいったが、他の稲穂は簡単にポロポロと剥がれた。

PBN-0013	標題: Dr. パシラス農業レポート	2012年10月19日
	「佐賀県鳥栖市美濃田園編」	(株)プラス・ビー 野口 涼子

㊦ 稲刈り (10/14) 美濃さんの息子さんがコンバイン(クボタ SR21)で刈っていく様子



㊧ 1~2周刈って回り、刈り取った米を約1t入る専用の袋へ入れる



軽トラの上で袋を組み立てる → コンバインを袋に近づけ、溜まった米を袋へ流し込む

㊨ 袋がいっぱいになったらチャックを締め、そのまま軽トラで営農組合に搬送



㊩ 1tの米袋を組合の人がリフトで運ぶ



袋の紐にひっかける

→ 中へ運ぶ

→ 専用の機械で乾燥機へ入れる

PBN-0014	標題： Dr. バシラス農業レポート 「佐賀県鳥栖市美濃田園編」	2012年10月19日
		(株)プラス・ビー 野口 涼子

(10/14)

㊦ 組合から戻り、収穫作業を続け、溜まったらまた組合へ持っていく



㊦ 美濃田園のお米

(拡大)

(全体)



㊦ 籾摺機に紙袋をセットする → 1袋(30.5kg)を自動で計って止まるようになっている



㊦ 機械が止まったら紙袋を手作業で縛る



PBN-0015	標題： Dr. バシラス農業レポート	2012年10月20日
	「佐賀県鳥栖市美濃田園編」	(株)プラス・ビー 野口 涼子

⑬ 結果発表 10/14に刈り取り→翌日の15日に籾摺りを終え、組合から戻ってきた



(15日収穫結果が分かり16日に看板に貼り付け)

(美濃倉庫：10/19 全て完売)

美濃さんは昨年からさがびよりを作り始め、昨年の収穫量は32俵(台風の影響有り)だった。

- ◆ 収穫結果・・・耕作面積→ 4,350 m<sup>2</sup>(約4反3畝5歩)
- 収量→ 2,580kg (43俵) **【ふるい目→1.9mm】**
- 反当たり→ 593kg (9.88俵)
- くず米→ 210kg (3.5俵)

収穫した美濃さんのさがびよりは **【1等米】** だった。

#### ⑭ 1等米とは

等級	整粒割合	水分含有	死米混入	着色粒混入	もみ混入
1等米	70%～	12%～15%	～7%	～0.1%	～0.3%
2等米	60%～	12%～15%	～10%	～0.3%	～0.5%
3等米	45%～	12%～15%	～20%	～0.7%	～1.0%

きちんと整った形をしている米つぶの割合が70%以上で1等米になる。

30%までなら、きちんと整った形をしていない粒が入っていてもOK。

2等米にされた米の中にも1等級米が60%以上は入っていることになる。

ちなみにカメムシ等の食害によるお米は上記の表でいう「着色粒」にあたり、

1,000粒の中に1粒でもこの着色米があると1等米にはなれないという、

非常に厳しい検査。

#### ⑮ 「さがびより」は2年連続で「特A」を得ている

日本穀物検定協会が平成24年2月7日に発表した2011年産「米の食味ランキング」で「さがびより」が初出品ながら県産米として初めての最高級の、「特A」を2年連続で評価された。食味試験のランクは、複数産地コシヒカリのブレンド米を基準米とし、これと試験対象産地品種を比較は、炊飯した白飯を実際に試食して評価する食味官能試験に基づき、外観、香り、味、粘り、硬さをチェックされ、特に良好なものを【特A】、【A】、【A'】、【B】、【B'】の順で5段階の評価がなされる。

PBN-0016	標題: Dr. パシラス農業レポート	2012年10月20日
	「佐賀県鳥栖市美濃田園編」	(株)プラス・ビー 野口 涼子

㊦ 根っこ検証 (10/20) 美濃田園の刈り取り後の根掘り



㊦ 根っこ検証 (10/20) I 田園(さがびより)の根掘り

(写真右: I さん親子)



㊦ 根の泥を水に漬け洗い流し乾燥させて比較 (10/21) 明らかに根の太さ、大きさが違う



【美濃田園】

【I 田園】これが通常のサイズ



PBN-0017	標 題： Dr. バシラス農業レポート	2012年10月21日
	「佐賀県鳥栖市美濃田園編」	(株)プラス・ビー 野口 涼子

㊤ 精米前の美濃田園のさがびより (拡大) 青米(若くて良い米)が沢山



㊦ 精米後の美濃田園のさがびより (拡大) 白くて艶々している



— 検証終了 —

**【収量】**

今年は福岡県、佐賀県とも取れた所もあると思われるが、比較的不作だったという声も多かった。美濃さんの周りでは、今年は反当たり8俵程だったという方もいて美濃さんの反当たり約10俵は周囲の方々から大変驚かれたそうだ。

**【食味】**

私(野口涼子)も、すぐに美濃さんのさがびよりを食べさせてもらった。収量は然ることながら、お米の美味しさにはとても驚きました。炊き上がりの匂いも良く、口に入れると歯ごたえがあって甘味が広がり、ホクホクしていて、おかずなしで沢山食べさせていただきました。本当に感動しました。美濃さんは、Dr.バシラスを使用して収穫したお米を家族、親戚、その他関係者一同に配ったところ、食べた方々から直接または電話を通じて「とても美味しかったよ！」などの声が寄せられたそうです。美濃さんのお米はすぐに予約いっぱいになり、収穫から5日ほどで完売されている。

PBN-0018	標題： Dr. バシラス農業レポート 「佐賀県鳥栖市美濃田園編」	2012年10月23日
		(株)プラス・ビー 野口 涼子



【写真左:美濃さん 写真右:野口】

佐賀県鳥栖市下野町区長  
美濃鷹嗣(みの たかつぐ)さんの  
多大なる協力のもと、  
稲作(さがびより)による  
Dr. バシラス(納豆菌)の検証を  
無事成功させる事が出来ました。

### ～美濃さんのコメント～



(株)プラス・ビーより依頼を受け、Dr.バシラス(納豆菌)を使った水稻の栽培に初めて挑戦した。

例年になく米作りに力が入り、楽しい5ヶ月の農作業でした。

昨年までは、農協より配布された「稲作こよみ」を参考にしながら漠然と米作りをしていたような気がします。

今年は、春、夏、秋の農談会にも顔を出し農協指導員の話にも耳を傾けました。また Dr.バシラス使用という初めての栽培を経験し有意義な米作りの年となりました。

Dr.バシラスの効果でしょう撫育管理が非常に楽で収穫期まで稲に勢いがあり、根張りが良く、茎も太く、台風にも耐え、収穫を終える事が出来ました。Dr.バシラスを使った今年の稲作は特に実つきの多さと食味の良さに感激しました。

また、自分の記録している18年間の収穫実績で二番目に収穫の多い年となりました。

来年もDr.バシラスを使用した栽培に挑戦し、楽しみながら農業を続けていきたいと思っています。

株式会社プラス・ビー 〒830-0027 福岡県久留米市長門石2-7-10  
TEL&FAX : 0942-80-1295  
mail : ryk.noguchi@gmail.com